

1 会議の日時及び場所

(1) 日時 令和6年2月14日(水) 15時00分から15時50分まで

(2) 場所 神戸市中央区下山手通4丁目18-1  
兵庫県立ひょうご女性交流館 5階 501 会議室

2 出席委員の氏名 梅村 智(代理) 大野 昌也(代理) 小野 裕美  
(敬称略) 幸田 徹 杉村 和朗 太城 力良  
田中 伸明 富永 正寛 西口 久代(代理)  
中野 孝司 林 隆浩 福田 庸二  
古川 宗 丸山 英二 三宅 圭一(代理)

計15名

3 協議

第6次兵庫県がん対策推進計画(次期計画)の最終案について

4 報告及び協議の要旨

○ 開 会

○ 挨拶 (保健医療部次長兼感染症等対策室長)

事務局:本日は、委員22名のうち15名のご出席をいただいておりますので、「健康づくり審議会規則第6条第2項」に規定いたします会議の成立要件を満たしておりますことをご報告申し上げます。

<委員、事務局の紹介及び資料確認については省略>

これからの議事進行につきましては、部会長よろしくお願いいたします。

部会長:委員の皆様には非常にお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。協議事項について、事務局から資料に沿って説明をお願いします。

<事務局より資料について説明>

部会長:ありがとうございます。内容について、ご意見、ご質問はありますか。

委員:[資料1項番10]新型コロナウイルスの影響により相談件数が極端に減った場合等において、比率による掲載であれば値のばらつきが押さえられるメリットはあると思います。

委員:脂肪肝等の生活習慣病に起因する肝がんが増加している課題にどう対応するかについては、肝臓の繊維化や発症リスクの高い糖尿病患者に絞って調べていくことなどが考えられていますが、現時点で計画への反映は不要と考えています。

委員:[資料1項番2]令和4年のがんの75歳未満年齢調整死亡率が全国平均より4%低い(兵庫県64.7 全国67.4)とありますが、どのような計算方法なのでしょう。

事務局:引き算ではなく、割り算(全国値を100%とした場合の割合)で計算しています。

委員:[資料2P2]肝疾患専門医療機関の均てん化に関する意見について、冒頭の事務局説明で選定要件緩和について触れていましたが、詳細にご説明いただけますか。

事務局:肝疾患診療の環境変化や他府県の状況等を鑑み、選定要件を変更しました。例えば、人的要件の一つである「日本肝臓学会の常勤の専門医の配置」について、常

勤でないため申請できない等の意見がありましたが、国のモデル規定や他府県の状況等をみても常勤に限定している例が殆どなく、適切な診断を行うことができれば常勤・非常勤は問わなくていいのではないかと判断し見直しを行いました。また、従来は診療実績や専門的な設備の整備が要件に含まれていましたが、現在はインターフェロンフリー治療により診療実績が減少していることや、連携できる他施設があれば自施設での専門設備は不要なことから、そういった要件についても見直しを行っています。今まで専門医療機関がなかった但馬地域にも専門医療機関を配置するなど、全二次医療圏に拡げていきたいと考えています。

部会長：その他についてご意見はないでしょうか。皆様、概ね内容について了承いただいているようですので、今回の部会は終了させていただき、今後、事務局にて最終案を確定し計画の公表を行っていただきます。最後に事務局から今後のスケジュール等についてご説明をお願いします。

事務局：P27 に記載の HPV 検査については、今後国の指針改正等の動向を見ながら字句修正を加える見込みです。また、P29 に記載の「非アルコール性脂肪性肝疾患に関連する肝がんは増加する傾向にある」については、本日の意見を踏まえ「生活習慣病に起因する」等の一般の方が理解しやすい表現への変更を考えています。その他必要な検討を加えながら、最終的には杉村部会長に相談させていただき、計画を確定させていただきたいと考えています。皆様、よろしいでしょうか。

(異議無し)

事務局：それでは、そのようにさせていただきます。ありがとうございました。

部会長：それでは、今後、事務局と最終的に詰めていきたいと思えます。本日の協議についてはこのあたりで閉じさせていただきます。事務局に進行をお返しします。ありがとうございました。

事務局：杉村部会長、また委員の皆様におかれましては、第6次兵庫県がん対策推進計画の策定に向けて多大なご協力を賜り誠にありがとうございました。それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。委員の皆様、ありがとうございました。